



キャッシュフローを増やすための経営改善

お客様とお会いする時の参考情報としてご利用ください

世界的な需要の減少で急激な業績低下に見舞われている企業が急激に増加しています。資金繰り対策と業績回復のための経営改善が緊急の課題になってきています。

1 キャッシュフロー(CF)による経営状態の点検

CFは普通3区分(営業、財務、投資の各CF)で示されます。このうち「営業CF」は本業の営業活動の結果として現金預金がどう増減したかを示しています。これがマイナスなら、多くの場合速やかに経営改善に取り組むことが必要と見られています。

また、「財務CF」は借入や返済、増資等による資金調達の増減結果を示していますので、これがマイナスなら一般的に新規借入より返済が多いことを意味しています。昨今の金融情勢を考慮して、借入と返済のバランスの見直しが必要ではありませんか。

2 事業改善達成のためのリストラ

リストラとは会社の事業・組織を再構築・再編成することです。内容は「事業構造のリストラ」と「財務構造のリストラ」に大別されます。

事業構造のリストラは、現在の事業(製品内容・構成、生産方法、販売方法等)、組織(事業所構成、人員、管理体制等)を「選択と集中」の観点で根本から検証する活動です。

財務構造のリストラは、会社の資産と債務について資産保有の継続性や債務の返済可能性を一から再検討する活動です。

リストラは中長期的な事業再生の観点から検討されますが、「いつまでにどの程度実行するか」を明確にして業績回復のための経営改善の柱として位置づけることもできます。

3 CFを増やすための経営改善

経営改善の目的はCFを増やすことと言えます。そのための具体的取組みとしては、売上を増やす課題のほかに、コスト削減策として次のような課題があげられます。

在庫圧縮 仕入コストの低減 ロス率の改善 債権管理の徹底

遊休資産、非効率資産の処分 人員削減 人件費の変動費化

営業活動の効率化 間接部門・人員の圧縮 物流改善

これらの中から自社の優先度の高い課題を選んで次のような経営改善計画にまとめます。

(金融機関に提出する経営改善計画を想定)

経営改善に取り組む姿勢、努力 依頼事項(借入、リスク等) 資金不足の原因分析
不動産や資産の圧縮計画 収益性改善計画 設備投資計画 返済可能原資の算定
3ヶ年損益計画 3ヶ年CF計画

(参考情報)「JRS経営情報」の中から、次に掲げるコンテンツを参考にしてください。

キャッシュフロー計算書から読み取る経営改善が必要な状態	(0102-0460)
自社構造改革の流れを知っておこう	(0102-0538)
成功する事業構造のリストラクチャリング	(0102-0466)
成功する財務構造のリストラクチャリング	(0102-0467)
経営改善計画書の作り方	(0102-0551)

()内は情報番号

皆様が、お客様から相談を受けた時、「JRS経営情報」をちょっとした参考情報として提供されれば、お客様から喜ばれることは必定です。

なお、お客様にコンテンツをご提供する場合には、最初のページに「サンプル」と表示してください。また、お探しの情報が不明な場合はご照会ください(0120-89-0240)。